



シャンパーニュ：他に例を見ない文化遺産

2015年7月4日、シャンパーニュの丘陵、メゾンとカーヴは、ユネスコ世界遺産に登録されました。これらは、シャンパーニュ産ワインの誕生と醸造の地として知られる場所です。

世界遺産登録は、シャンパーニュのテロワールの顕著な普遍的価値、すなわち比類なく価値をつけがたい特徴が認められたことの証です。

丘陵地帯



シャンパーニュの ブドウ栽培風景

人が適度に手を加え、家並み、発酵所、ブドウ収穫小屋などと織りなす自然の風景。

メゾン



見事な 建築様式を誇る建物

シャンパーニュ産ワインの醸造と販売のために建てられた建物

カーヴ



登録対象のうち 地下にあたる部分

100キロ以上にわたり連なる、シャンパーニュの長期間熟成に欠かせないカーヴとフレイエール

遺産登録で認められた3つの根拠

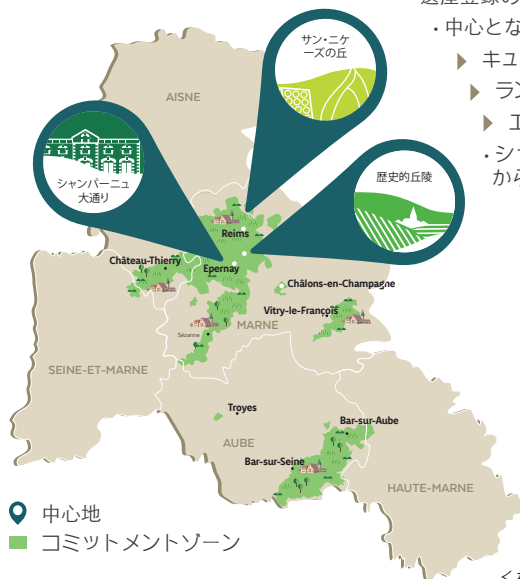
- ・ 世代を超えて受け継がれ、磨きをかけられたノーハウ
- ・ 類稀なる有形文化遺産の構築
- ・ 世界共通の祝賀のシンボルとしてのシャンパーニュ名称のprestige性の高さ。

遺産登録の登録範囲：

- ・ 中心となる3つの地区：

- ▶ キュミエールとマレイユ・シュール・アイの歴史的丘陵
- ▶ ランスのサン・ニケーズの丘
- ▶ エペルネのシャンパーニュ大通り

- ・ シャンパーニュ名称の使用を許された319自治体からなる大きなコミットメントゾーン



遺産登録によるシャンパーニュ 地方のコミットメント

- ・ この遺産を持続的に守り成長させる
- ・ 比類なきこのテロワールの名声を高める



くわしくはこちらへ：www.champagne-patrimoinemondial.org

詳しくはこちら：champagne.education